

経営のヒント129 地頭力を鍛える!

自分の「思考のクセ」を認識する!

いま、すぐはじめる地頭力」細谷功 大和書房 1500 円

細谷功氏の前著「地頭力を鍛える」東洋経済新報社には、地頭力の本質は、結論から全体・単純に考える力である」と定義し、その重要性や思考プロセスについて解説していました。

どちらかといったらコンサルタント向けのような著書内容でしたが、今回続編?として発刊された「いま、すぐはじめる地頭力」とい著書では、もっとわかりやすく書いてありましたのでご紹介します。

自分の「思考のクセ」を徹底的に認識する(72~ 80p)

大事ななのは自分の思い込みを徹底的に認識することです。

では、私たちにはどんな思考のクセがあるのでしょうか。

?相手より自分、将来より現在

相手のことでなく自分のことを中心に考えている。

将来のことでなく現在のことに目が向く。

?決果よりプロセス、全体より部分

結果でなくプロセスを語る。

全体からでなく部分から考える。

?遠くの重大事より直近な些細なこと、自分の短所より他人の短所

時間の遠い重要なことより直近な些細なことを重要に考える。

自分の短所には目をつぶり、他人の短所には目が向く。

?相違点にこだわり、自分を特殊と考え、他者を一般化する。

共通点でなく相違点にこだわる。

自分を特殊だと考える。

他人のことは一般化する。

?枝葉や例外にこだわり、複雑に考える。

太い幹より茂枝葉にこだわる。

基本原理より例外事項にこだわる。

物事を単純でなく、複雑に考える

<経営のヒント> ..地頭力をつけるには?

「頭がいい」には3つに分けられる。

第1が「知識、つまり物知り」第2が「対人感性力、つまり機転がきく」第3が「考える力の「地頭力」

「地頭力」とは「離れて考えること! ..これぞ言うは易く、行うは難し」

「向こう側に」離れる(仮説思考)

「上空に」離れる(フレームワーク思考)

「対象物から」離れる(抽象化思考)